

発行日 : 2014-3-10
改訂日 : 2015-11-28

SDS番号 : NCW 0001 R -01 WD JP
版番号 : 02

1. 化学品及び会社情報

製品名 COOLANT, AURORA BRINE P
製品コード QM4-1304-000 / QM4-3066-000
供給者の会社名称 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
住所 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6
担当部門 製品安全推進担当
電話番号 03-6719-9729
製造者 キヤノン株式会社
〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
推奨用途及び使用上の制限 温調装置用循環溶媒

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類されない
GHSラベル要素
絵表示またはシンボル なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 なし
注意書き なし
他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分 混合物

成分

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
プロピレングリコール	15 - 20	C ₃ H ₈ O ₂	(2)-234	57-55-6
防食剤	0.1 - 1.5	CBI	CBI	CBI
水	75 - 85	H ₂ O	なし	7732-18-5

CBI: 営業秘密

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の手当を受ける。呼吸が止まっている場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸していて嘔吐等がある場合は頭を横向きにする。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服、靴等は速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば衣服等を切断する。製品に触れた部分を、水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく洗い落とす。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
眼に入った場合	清浄な水で最低15分間以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	直ちに医療措置を受ける手配をする。水で口の中を洗わせてもよい。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
最も重要な徴候症状	
吸入	通常の使用条件下での悪影響は予測されない。
皮膚	通常の使用条件下での悪影響は予測されない。
眼	わずかな刺激性があるかもしれない。
経口	わずかな刺激性があるかもしれない。
慢性影響	通常の使用条件下での悪影響は予測されない。
応急措置をする者の保護	なし

5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火を行う者の保護	必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には、適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

河川や下水に流さない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。大量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

吸入を防ぎ、眼、粘膜、皮膚との接触を避ける。必要に応じ適切な保護具を着用し、風上から作業する。取扱い後、手洗い、洗眼等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。漏れ、溢れ、飛散を防ぎ、蒸発を発生させない。取扱い場所では、火気、火花、アークを発生するもの、または高温点火源付近で使用しない。容器はみだりに転倒させ、衝撃を与え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしない。

安全取扱注意事項

機器類は防爆構造とし、設備は静電対策を実施する。

保管

安全な保管条件

通気の良い場所で容器を密閉し、直接日光が当たらないように冷暗所に保管する。強酸化性物質と同一場所には保管しない。火源の近くに保管しない。

安全な容器包装材料

容器は、破損、腐食、割れ等の変質しない材質に入れ保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
温調装置用循環溶媒	設定なし	設定なし	設定なし

成分

なし

設備対策

通常の実取扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

保護具

呼吸用保護具

呼吸器保護マスクを使用する。

手の保護具

耐薬品性の手袋を使用する。

眼の保護具

ゴーグル型保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体保護具

耐薬品性の防護服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色)	液体 ; レッド
臭い	ほぼ無臭
臭いのしきい (閾) 値	データなし
pH	8.8 (25°C)
融点・凝固点 (°C)	融点 ; -30
沸点、初留点及び沸騰範囲 (°C)	沸点 ; 107
引火点 (°C)	引火点なし
蒸発速度	データなし
燃焼性 (固体、気体)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	1970Pa (20°C, 推算値)
蒸気密度	データなし
比重 (密度)	1.047g/cm ³ (20°C)
溶解度	
水溶性	可溶
脂溶性	不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
粘度 (粘性率) (mPa s)	12.7 (20°C)
その他のデータ	なし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	酸, 塩基, 酸化剤, 還元剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素, 二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ; データなし プロピレングリコール : LD ₅₀ > 20000 mg/kg (rat), LD ₅₀ > 24000 mg/kg (mouse)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし

発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他の情報	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし プロピレングリコール : 96-LC ₅₀ > 1,000 mg/L (goldfish)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	なし
MARPOL	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	該当しない

16. その他の情報

参照規格

本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253：2012（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252：2014（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議（ACGIH），Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構（WHO） 国際がん研究機関（IARC），IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法：労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average（時間加重平均）
- STEL: Short Term Exposure Limit（短時間暴露限界値）
- IARC: International Agency for Research on Cancer（国際がん研究機関）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本工業規格）
- CBI: Confidential Business Information（営業秘密）

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。